

研究課題名：	日本インターベンショナルラジオロジー学会における症例登録データベース事業
研究機関名：	一般社団法人 日本インターベンショナルラジオロジー学会
研究責任者及び職名：	吉川公彦(奈良県立医科大学)
研究期間：	2023年6月をめどに事業の検証、見直しが予定されている
研究の目的と意義：	<p>インターベンショナルラジオロジー(以下 IVR)は低侵襲な医療として、その評価は高く、とくに患者の QOL の維持、入院期間の短縮など医療経済にも寄与していると考えられているが、その実態を十分に把握できていないのが現状である。現在、日本 IVR 学会では「IVR 症例 Web 登録」として、学会員の実施した IVR を、インターネットを介してデータベースに登録して、現状の把握に利用している。その内容の詳細な解析には得られたデータからさらなる解析が進められなければならない。本事業の目的は、IVR の症例情報を集計・登録することにより、我が国における IVR 診療の現状を明らかにすることにある。さらに会員個人、修練施設における登録を分析して、IVR 専門医の育成、修練施設の増加など、今後の IVR 診療の進歩、普及を図ることを目的とする。また、このデータは統計的な考察を加えて適宜公開する計画であり、IVR 診療の基礎と臨床の多くの研究に貢献すると考えられる。</p> <p>また、以上の過程で集積された医療資源(手技時間、必要医師数、看護師数、技師数)のデータは、厚生労働省から外保連を介して集積される外保連試案改定のための資料提出のためにも使用する。同時に新規 IVR 手技の保険収載に向けてのデータとして活用することもあり、IVR 診療の普及に貢献すると考えられる。</p>
研究内容：	<p>対象症例に関する情報を日本 IVR 学会員または代理人が Secure Sockets Layer(インターネット上で通信を暗号化する技術：SSL)を介したインターネット経由で日本 IVR 学会症例登録データベースに登録を行う。実施日時、年齢、性別、主たる術式、疾患名、術者、助手、指導監督医、協力医師数、協力看護師数、協力技師数、IVR 室占拠時間、手技時間、使用機器、手技の成否、合併症、保険未・非償還材料使用に関する情報を登録する。</p>
個人情報の取り扱い：	<p>登録は SSL を用いて保護された通信を介して行う。各機関から登録された情報は主機関において管理 ID を生成し、データベースに登録する。主機関においては、管理 ID と登録機関にお</p>

	<p>ける施設内 ID との連結表などの連結を可能とする情報は保持しない。その他の氏名、生年月日、住所、保険番号などの個人情報 は送信・登録しない。保管するサーバーは 24 時間 365 日監視されている。また、ウィルスおよび不正アクセスの対策が施されており、サーバーの二重化がなされている。</p> <p>非侵襲的な研究であり、身体に対するリスクは生じない。</p> <p>個人を特定する情報は登録されないため、研究協力者への危険は生じない。</p>
問い合わせ先： (拒否等の受付窓口)	<p>【当院における研究担当者】</p> <p>所属：さいたま赤十字病院 救急科</p> <p>氏名：人見 秀</p> <p>住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1-5</p> <p>電話：048-852-1111</p>